

【議事録】

審議会等名	平成30年度つくばみらい市健康づくり推進協議会
開催日	平成30年8月31日（金曜日）
開催場所	つくばみらい市役所 伊奈庁舎2階 会議室1
出席者	<p>〔出席者〕 8名</p> <p>小田川 浩 会長（つくばみらい市長）</p> <p>今川 英明 委員（議会代表）</p> <p>高木 寛房 委員（国保運営協議会代表）</p> <p>片見 礼子 委員（食生活改善推進協議会代表）</p> <p>本多めぐみ 委員（つくば保健所長）</p> <p>秋田 政夫 委員（体育協会代表）</p> <p>飯塚 伸泰 委員（学識経験者）</p> <p>中山 和広 委員（保健福祉部長）</p> <p>〔欠席者〕 5名</p> <p>福田 敏男 委員（教育委員会教育長）</p> <p>磯部 剛志 委員（医師会代表）</p> <p>横張 雅彦 委員（歯科医師会代表）</p> <p>松本 譲二 委員（区長会代表）</p> <p>染谷 武 委員（産業経済課長）</p> <p>〔事務局〕 健康増進課 5名</p> <p>関口課長補佐，水野主査，村上主査， 加瀬係長，野口主査</p>
議案	<p>(1) 平成29年度保健事業実績について</p> <p>(2) 平成30年度保健事業実施状況について</p> <p>(3) 第3次つくばみらい市健康増進・食育推進計画の概要について</p>
会議資料	<p>資料1 健康増進計画の実績報告（H27～29）</p> <p>資料2 食育推進計画の実績報告（H27～29）</p> <p>資料3-1 平成30年度つくばみらい市の成人健（検）診事業</p> <p>資料3-2 平成30年度つくばみらい市の食育推進事業</p> <p>資料4 健康増進・食育推進計画の体系</p> <p>資料5-1 自殺総合対策の背景</p> <p>資料5-2 自殺総合対策大綱（概要）</p>

議事概要

・開会 午後1時30分

・会長あいさつ

・議案

(1) 平成29年度保健事業実績について

(2) 平成30年度保健事業実施状況について

<事務局より資料1・資料2・資料3-1・資料3-2に基づいて説明>

○委員～がん予防推進員について、どのような方法で選出をしているのか。また、啓蒙活動をしてもらうと思うが、どのような方法で啓発をするのか伺いたい。

○事務局～平成2年の始まりは、食生活改善推進員に県より声かけがあり、市長が推薦をして養成講座を受けていただいた。その後中断の時期があり、ここ数年県で養成講座を始めるにあたり、当市では広報での周知や、食生活改善推進員の方やシルバーリハビリ体操指導士等の団体にも受講を呼びかけた。啓蒙活動については、養成講座が中断していたが、昨年「健康フェスタ」というイベントで検診の受診勧奨を行っている。また市で開催した研修会時にパンフレットを持ち帰ってもらい、身近な方等に学んだことを広めてもらっている。これから徐々に啓蒙活動の場を広めていきたいと考えている。

○委員～がんについては、早期発見をすればほとんどのがんが治るわけで、がん予防推進員の地域のバランス性も大事ですので啓蒙活動をしっかりとやっていただきたい。

○会長～健康啓発事業について、今年も大変大盛況であり、健康維持をテーマにすると市民の方の関心の高さを感じた。また、「コアラクッキング」については、出し汁の取り方や良さを理解した。沢山の参加者がいると食育が広がっていくものと思う。

●承認

・議案

(3) 第3次つくばみらい市健康増進・食育推進計画の概要について

<事務局より資料4・資料5-1・資料5-2に基づいて説明>

○会長～全国の死因を調べると、20歳から39歳代の自殺が1位

	<p>となっている。60歳未満でも上位5位以内には自殺が入っている。そして男性の自殺者が多い状況となっている。</p> <p>○委員～高校生以下の学生のいじめについては、環境をつくれば起きないと思われる。当市の自殺の原因を探り、環境を変えて自殺を防ぐしかないと思う。</p> <p>○委員～人権擁護の中では、SOSミニレターを各小中学生に配付して、親にも先生にも言えないことを書いて投函をすると法務局に届き、それから各支部、各担当の市に戻り、返事を書く。当市においては、毎年該当者がいる。学校に行き校長先生に、こういう手紙をいただいたが、現状はどうか伺い、自殺につながらないようにアドバイスをしている。</p> <p>○会長～健康増進課だけの問題ではないと思われる。学校教育課や介護福祉課も関係してくると思う。保健福祉部だけでなく、全庁的に考えていかななくてはならないと考える。</p> <p>○委員～当市においては、相談窓口は開設をしているのか伺いたい。</p> <p>○事務局～自殺に対しての相談窓口は設けていない。精神保健の相談としては設けている。</p> <p>○委員～本人より家族が異変に気づくと思うので、相談しやすい環境にしてもらえればと思う。</p> <p>○委員～自殺者が3万人を超えていることを受けてゲートキーパーを養成している。経済的な理由や各年齢層の問題を解決していければと思う。</p> <p>○委員～日本スポーツ協会では、健康のために週1回運動をするということで、65%の目標を設定しているところだが、当市においても目標を設定して啓蒙していった方が分かりやすいと思う。例えば週1回は運動をしてくださいと数字を挙げてやった方が分かると思う。若者は仕事等の問題でかかっていても時間が取れない現状である。職場や家庭で健康増進が図れるようなしくみをつくってあげれば良いと思うがいかがか。</p> <p>○事務局～当課においても健康増進室があり、今年は若者に向けて利用の促しをして申込が増えてきているが、継続というところが難しい。施設に出向いて目的をもって運動している人が継続している人が多い。家だと目につくことに気を取られ後回しになってしまうのが多いと感じる。施設や家等選択が色々あることが望ましいと思うので、運動の提案の啓蒙を今後事業に組み入れていきたいと思う。</p> <p>○委員～食について、60歳を過ぎると健康に関心が強くなる。減塩とか。過度に減塩や油を控えると便秘等色々な弊害があ</p>
--	---

	<p>るので、固まった考え方で健康健康と言わない方がいいかと思う。</p> <p>○委員～小中学校の薬剤師をしているが、中学校は毎日ではないが学校カウンセラーがいて、子供たちが気軽に相談をしている。カウンセラーの存在は大きいと思う。自殺者が3万人から減っている中、当市は減っていない。男性だけを見ると50代60代が多いのでその年代を対象としたカウンセリングがあってもいいと思う。また、食事の件について、高血圧や高脂血症等のレシピを患者さんが常に持って行く。そういった料理教室は行っているのか伺いたい。</p> <p>○事務局～食生活改善推進員でヘルシークッキングということで、広報等で募集をし、生活習慣病予防食の教室を行っている。</p> <p>○委員～こころの相談やゲートキーパー等、周知については広報だけでなく、例えば防災無線を活用して啓蒙活動をするのも必要かと思う。一般の方に関心をもってもらえることが一番大事で、周知の件について検討していただければと思う。</p> <p>●承認</p> <p>・閉会 午後2時20分</p>
<p>そ の 他</p>	<p>傍聴者 1人</p>